

電気を使わず涼しさを実感

ひんやりジェルマット



ひんやりジェルマット レギュラー 枕タイプ 1,980円
 ひんやりジェルマット レギュラー ダブルタイプ 7,980円
 問い合わせ：ヒラカワコーポレーション <http://hirakawa-corporation.com/>

今年も節電への関心がより高まる夏がやってきた。電気を減らすのではなく、使わないで涼感を得られる商品、その名も「ひんやりジェルマット」。ヒラカワコーポレーション・専務取締役の平川和代さんに話を聞いた。

「開発のきっかけは、社長がお

孫さんが暑がっているのを見て、何か安全な形で涼めるものはないかと考えました」
 「ひんやりジェルマット」はシーンを選ばない。寝室はもちろん、ソファやその足元、ちよつとした昼寝のとき床に敷いてもいいし、ベットが涼むのにも最適だ。

「敷くだけなので簡単です。敷くだけですぐにひんやり効果を実感していただけるでしょう」

仕組みはこうだ。横たわるとすぐにひんやりし、体熱をマットがゆつくりと吸収していく。寝返りを打つとまたひんやり。身体から離れたマットは体熱を発散し、またひんやりする。このサイクルが繰り返されるので、いつもひんやりしているというわけだ。

「室温に対して約マイナスイオン・5度になります。サーモグラフィによる表面温度変化測定でもその効果は証明されています」

安全で、取り扱いが楽なものこの商品の優れたところだ。

「高周波圧着という技術を使っているのですがしっかりと密封されています。よってカビにくい。水を使う製品なので、これは必須です。また、実用新案登録取得の独自の方法でジェルを固定しているのが片寄ることがありません。シャワーで直接洗うこともできますので、お手入れも簡単です」

サイズ的にはこんな便利な商品もある。

「オフィスでは、椅子に置いて使える『ひんやりジェルマットクッション』が、暑がりのサラリーマンの方には強い味方にな

るでしょう」

クッションは6色と豊富な色のバリエーションで展開。レギュラーのマットもデザインは豊富だ。「マットというと、当社が最初に作った青のイメージが強いんですが、今年から柄モノも出しています。人気コミックの『ONE PIECE』デザインのものもあります。今後はマットにとどまらず、ジェル掛け布団などいろいろな商品を考えていきたいですね。健康になるための機能的寝具というものを定着させていきたいです」

反響は。

「おかげさまで昨年から節電が目され、売り上げも増えています。当初は大人向けに考えていたのですが、届く声としてはお子様が使っているというものも多い。今後はよりキッズ&ファミリーを意識した展開になるでしょう。まさに社長が考えていた最初のコンセプトに立ち戻っているわけですね」

「ひんやり」で夏だけかと思つたら、こんな商品もあるという。

「冬には『あったか温感パッド』がお勧めです。こちらも電気を使わないので、安全安心ですし、節電にもつながります」

こうしたアイテムで、身体に優しい生活を送りたいものだ。